

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月09日

計画の名称	折尾地区の安全・安心で快適なまちづくり (防災・安全)												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北九州市												
計画の目標	J R折尾駅周辺の鉄道連続立体交差事業、街路事業、土地区画整理事業等を総合的に実施することにより、交通結節機能を活かした、安全・安心なまちづくりを推進する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	1,180	A	1,180	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

計画の成果目標 (定量的指標)				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	-	(H32末)
1	・本市地域防災計画に位置づけられている、折尾駅南側における特定消防区域 (火災危険度の高い区域) の指定を解除し、安全・安心なまちづくりを推進する。 ・折尾駅周辺地区における、特定消防区域 (火災危険度の高い区域) の面積率 (H27末現在、市地域防災計画で位置づけられている面積を100%として算出)	100%	%	38%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------

A 基幹事業																						
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	折尾土地区画整理事業	都市再生区画整理 16.9 ha	北九州市	■	■	■	■	■	1,180		—			
												小計						1,180				
											合計						1,180					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
【実施体制】北九州市建築都市局折尾総合整備事務所事業調整課が事後評価を実施 【評価値の確認方法】学識経験者に意見聴取を実施（九州共立大学経済学部成富教授、九州工業大学寺町准教授）	令和4年度
	公表の方法 北九州市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	折尾土地区画整理事業の進捗により、老朽家屋の移転が進み、地区内の特定消防区域（火災危険度の高い区域）の指定が一部解除され、防災上の課題が改善された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

折尾土地区画整理事業の事業期間は令和10年度までであり、引き続き老朽家屋の移転を進め、安全・安心なまちづくりが早期に実現できるよう、事業を推進する。

○目標値の達成状況

番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	最終目標値	38%	折尾地区総合整備事業の事業計画見直しにより、土地区画整理事業の事業完了年度が令和7年度から令和10年度に延伸となったことや、地権者の同意が得られず移転が遅れたことなどにより、目標達成とは至らなかった。引き続き、土地区画整理事業における建物移転等を推進することで、次期計画では特定消防区域の指定を全域解除する見込みである。
	最終実績値	73%	

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	折尾地区の安全・安心で快適なまちづくり (防災・安全)	
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)	交付団体 北九州市

